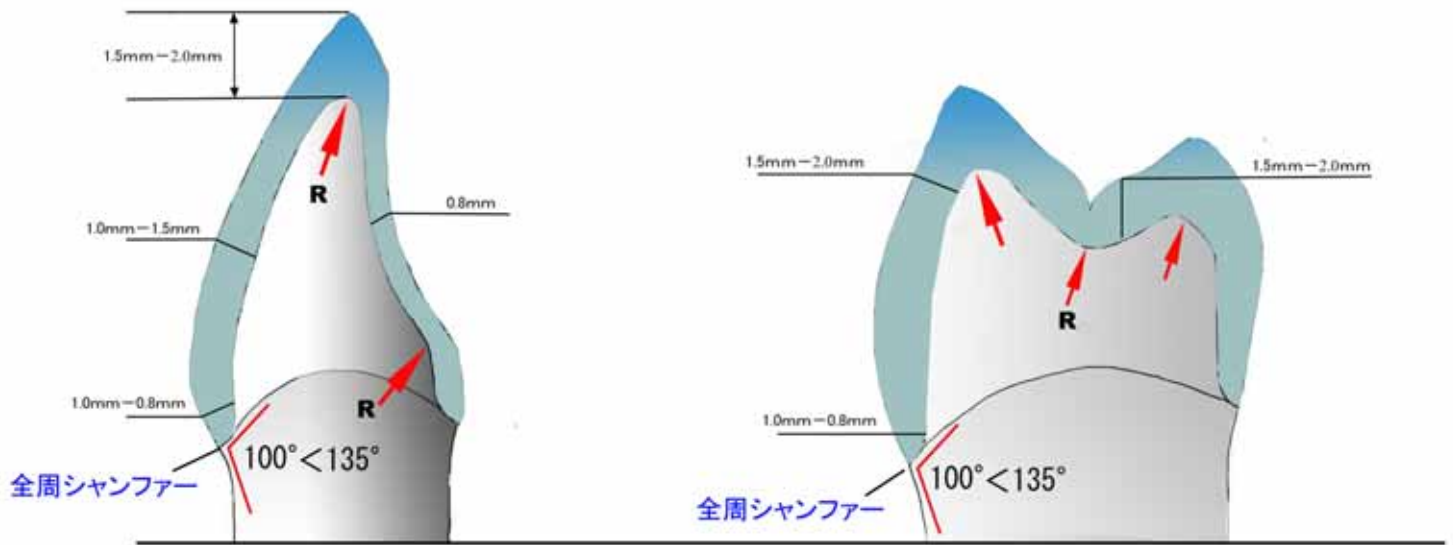


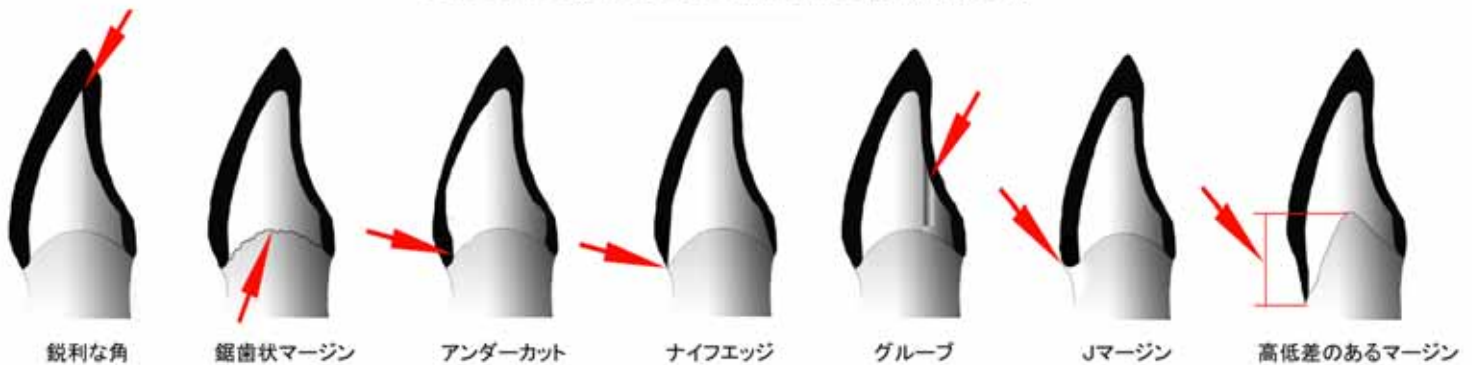
# Hint-ELs DentaCAD System

## 支台歯形成のガイドライン

歯台支形成は角を排除して丸みを帯びた形にしてください。  
表面はざらつきのない滑沢な面で仕上げてください。

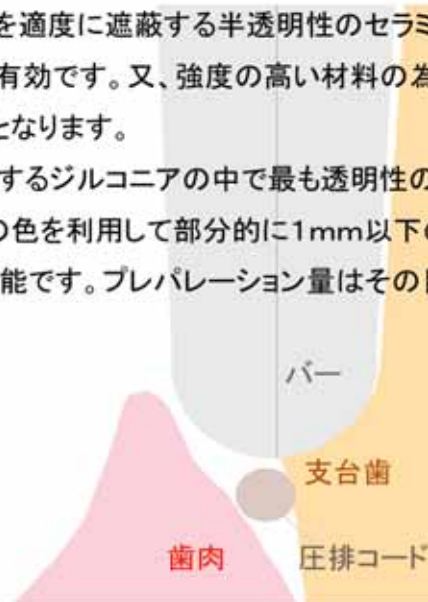


Denta CAD Systemにとって不向きな支台歯形成です。



ナノジルコニアは、下地を適度に遮蔽する半透明性のセラミックです。金属支台歯や変色歯、インプラントのチタンアバットメントなど有効です。又、強度の高い材料の為、従来のジルコニアではためられるような症例でも十分に対応が可能となります。

HIPジルコニアは、現存するジルコニアの中で最も透明性の高いジルコニアです。有髄歯で形成量が限定されている場合でも支台歯の色を利用して部分的に1mm以下の半透明なクラウンを製作したり歯肉縁上で接合部をフィニッシュすることも可能です。プレパレーション量はその目的に応じて変えられるべきと考えます。



幅の広いヘビーシャンファアよりもむしろシャンファアで充分です。形成時には歯肉を排除し、バーの半径を超えて支台歯に喰いこませないようにすることがよい結果を生みます。

communication is production